

5:達成している 4:ほぼ達成している 3:どちらともいえない 2:取り組みを検討中 1:改善が必要

1. 教育の理念・目標	評価
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	5
1-2 学校の特色は何か	5
1-3 理念に基づく教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

留学体験価値を公共的な体験価値として、世代間で継承し、生々させていくべく、永続的発展的な「積善型好循環留学システムの構築と実践」を理念としている。特色は、人間力の育成で、学生主体の授業、学内の活動に参加することにより、日本語能力だけでなく、論理的思考能力、創造力、コミュニケーションスキル、公共心、忍耐力などが高められることと、様々な企業経営者の方のネットワークがあることである。これらに基づいて、教育を行なっている。

2. 学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	5
2-4 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	5
2-5 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	5
2-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	5
2-7 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	5
2-8 危機管理体制は整備されているか	5
2-9 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるよう学校教育法に基づき整備されているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

出席簿の IT 管理をすすめ、リアルタイムで出席率を把握できるようにしている。危機管理体制の構築を進め、特に感染症対策などへの対応として体調の異変があればすぐに連絡を取れるよう、SNS を活用している。

3. 教育活動	評価
3-1 カリキュラムが体系的に編成されているか、またその改善のための取り組みが行われているか	5
3-2 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	5
3-3 成績評価や進級、修了の判定基準は明確になっているか	5
3-4 教育の質、教員の指導力向上のための取り組みが行われているか	5
3-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

カリキュラムはレベル別に体系的に編成されている。補助教材等も用いながら、進度や学習者の状況に応じて工夫するなど改善を行っている。到達目標は、卒業までに N2 以上を取得できるように目標を掲げている。中間試験、期末試験を前期・後期で行い、また日本語試験対策を行うなど、日本語力の向上を意識して行っている。

4. 学修成果	評価
4-1 学生の日本語能力の向上が図られているか	5
4-2 学生の日本語能力は学校が定める到達目標に達しているか	5
4-3 学生の進路希望を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

日々の授業だけではなく、1日4時間以上の自宅学習を習慣づけるよう指導している。学生の日本語能力は、本校が定める到達目標にほぼ達しており、希望の進路へ進学している。入学時及び在学中は、定期的に、学生の希望の進路を聞き取り担当教員だけではなく教務や事務などで情報の共有を行っている。

5. 学校運営	評価
5-1 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-2 学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 保護者と適切に連携しているか	5
5-6 卒業生への支援体制はあるか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

各担任教員が学生と個人面談を行い、進学・就職希望を確認しオープンキャンパスへの参加や専門学校への問い合わせなどを適宜行っている。欠席があった場合、心身の健康管理についての確認や病気や怪我などがある場合は、病院への付き添いなどサポートを行っている。学生寮へは、月2回、教職員により点検を行い、設備、衛生、ルールなどの確認を行い、指導を行っている。保護者には、学生の評価表を作成し送付したうえで、担任教員等から学習状況や進路について連絡し連携している。卒業生から問い合わせにも積極的に応じて支援をしている。

6. 在籍管理と生活指導	評価
6-1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか	5
6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
6-3 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか	5
6-4 常に最新の学生情報を把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

入学オリエンテーションで、入国・在留関係の管理、指導、日本社会を理解するための支援、法令遵守の指導を行っている。また、常に最新の学生情報を把握するため、担当教員が個人面談を行い、学生情報の確認を行っている。

7. 学生の募集と受け入れ	評価
7-1 学生の受入方針は定められているか	5
7-2 学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	5
7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5
7-5 適正な定員設定および在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

学生募集の説明会や面接試験に、当校の責任者が現地に赴き、適切に行っている。 ホームページで最新の募集要項等が確認でき、問い合わせに対しても英語、ネパール語、ベトナム語や中国語でも対応可能である。入学選考は、書類選考、面接を行い適正かつ公平な基準に基づき行っている。
--

8. 財務	評価
8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	5
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	5
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

より幅広く留学生を受入れ増員を目指し、財務基盤の安定につとめている。会計処理は適切に行っており、税理士による会計検査も毎年行われている。財務情報公開については、今後の課題である。
--

9. 法令等の遵守	評価
9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5
9-4 自己点検・自己評価を公開しているか	5
9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

法令、設置基準等の遵守と適正な運営を行い、教職員で問題点を共有し改善を図っている。個人情報保護に関しては個人情報ファイルの保管の徹底している。
関係省庁への定期報告は担当者を決め、遅延なく実施している。

10. 社会貢献	評価
10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5
10-2 学生ボランティア活動を奨励・支援しているか	5

<現状・具体的な取り組み/課題>

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献としてウクライナからの学生の受け入れを行っている。学生ボランティア活動として今回初めて学校の周りのゴミ拾いをおこなった。今後は、社会貢献について教職員で議論し実現したい。